

アジア獣医師会連合(FAVA)ワンヘルス福岡オフィスが開所しました



令和5年8月1日(火)、アクロス福岡13階に「アジア獣医師会連合(FAVA)ワンヘルス福岡オフィス」(以下、「FOF」という。)が開所し、その開所式が行われました。

開所式には、服部誠太郎福岡県知事、荒瀬泰子福岡市副市長をはじめ福岡県議会、福岡市議会、福岡経済界及び福岡県医師会、福岡県獣医師会の皆さんが参加されました。



最初に、FOF所長挨拶が行われ、以下のように挨拶されました。



【藏内勇夫所長:挨拶】

FAVA オフィスの設置につきましては、今日ご出席いただいております皆様方から強い要請を受け、アジア獣医師会連合の役員会に提案をし、満場一致で承認をいただくことができました。そして、昨年の秋にアジア獣医師会連合の総会がありました。

この時に、私は、アジア獣医師会連合の会長に就任をしました。服部知事と私で、「福岡事務所に設置に関する覚書」を締結することができました。

開設に向けて、ずっとスタッフと準備を進めてまいりましたが、本日、ようやくスタートの日を迎えることができました。感無量な思いでございます。我々は、すでに、アジア獣医師会連合(FAVA)あるいは世界獣医師会、世界保健機構、国際食糧農業機構などの国際機関とのネットワークを有しております。このネットワークを駆使して、ウイルスの情報を収集し、共有し、ワンヘルスの推進に努力を重ねていきたいと考えているところです。FAVA や各国獣医師会は、そのワンヘルスのプログラムをすでに持っておりますので、積極的に協力をし、アジアだけではなく、世界にウイルスの実践活動を広げていきたいと考えているところです。

今後、ここを拠点に世界にワンヘルスというのを広げていきたいと考えています。そして、もうすでに世界各国のワンヘルスに関する見識の高い方々が、「ワンヘルスといえば福岡ですね」ということを言ってもらえるようになりました。まさしくこの「ワンヘルス」というものを通じて、福岡県、福岡市のプレゼンスを高めていきたいと考えているところです。

やっと産声を上げたばかりですが、ハビタットに負けぬように、しっかりと実績を積み重ね、お役に立つ国際組織の一員として、共に頑張っていきたいと思っています。

(一部抜粋)

次に、来賓として、服部誠太郎福岡県知事は、以下のように祝辞を述べられました。



【服部誠太郎福岡県知事：祝辞】

福岡市の天神1丁目1番地、ワンワンの地に、ワンヘルス福岡オフィスが開設されました。このオフィスの藏内所長には、これまでもアジア獣医師会連合(FAVA)の会長として、また、日本獣医師会の会長として、オフィスの設置、開設に向けて、大変なご尽力を賜ったところでございます。改めて深く敬意を表しお礼を申し上げます。

この福岡オフィスは、昨年11月に福岡で開催をされた FAVA 大会において採択されました「アジアワンヘルス福岡宣言2022」において掲げられた、ワンヘルスの実践活動をリードするために、アジア各国からワンヘルスに関する情報を集積する。そして、世界動物保健機関や国際食料農業機構、あるいはハビタットと福岡県、国際関係機関と連携をして、人獣共通感染症対策や薬剤耐性対策に取り組むこととされているところです。

福岡県では、4月にハワイ州を訪問いたしました。すでにワンヘルスの講座を持っているハワイ大学と福岡県との間で、「ワンヘルス推進に関する覚書」を締結いたしました。この際には、九州大学はじめ、11の県内大学の皆様にもご参加をいただき、ハワイ大学との間での意見交換も行っていただきました。

福岡県としては、みやま市において、「ワンヘルスセンター」の建設の準備を進めているところです。このワンヘルスアプローチによる調査研究、また、これを担う高度専門人材の育成といったことについても、この福岡オフィスとも連携して進めていきいと思っています。

さらに、福岡県では、「ワンヘルス国際フォーラム」を毎年開催しております。私としましては、この「ワンヘルス国際フォーラム」もこの福岡オフィスと連携して、さらに専門性を高める、世界最高峰の研究者の皆さんに集っていただき、ワンヘルスに関する研究、情報等の発信をこの福岡の地から世界に向けて行っていく。このようなハイレベルなフォーラムに育てていきたいと思っています。

こうした取り組みを進めまして、日本のみならず、アジアそして世界のワンヘルスの推進に大いに貢献をし、「ワンヘルスといえば福岡。」この福岡をワンヘルスの世界における先進地として、このポジションを確立していきたいと思っております。

(一部抜粋)